

令和 8 年度（2026 年度）

入学者選抜要項



公立小松大学

出願の際は募集要項をご確認ください

【令和 8 年度（2026 年度）公立小松大学入学者選抜日程】

（１）大学入学共通テスト

令和 8 年 1 月 17 日（土）、18 日（日）

（２）個別試験

一般選抜

試験区分	Web 出願システム 事前登録開始日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
前期日程	令和 8 年 1 月 22 日(木)	令和 8 年 1 月 26 日(月) ～ 2 月 4 日(水)	令和 8 年 2 月 25 日(水)	令和 8 年 3 月 6 日(金)	令和 8 年 3 月 14 日(土)
中期日程			令和 8 年 3 月 10 日(火)	令和 8 年 3 月 20 日(金)	令和 8 年 3 月 27 日(金)

学校推薦型選抜

試験区分	Web 出願システム 事前登録開始日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
地域推薦 ・市内推薦 ・県内推薦 ・北陸 3 県 ^{※1}	令和 7 年 10 月 30 日(木)	令和 7 年 11 月 1 日(土) ～ 11 月 7 日(金)	令和 7 年 11 月 15 日(土)	令和 7 年 12 月 1 日(月)	令和 7 年 12 月 8 日(月)
一般推薦	令和 7 年 11 月 28 日(金)	令和 7 年 12 月 2 日(火) ～ 12 月 12 日(金)	令和 7 年 12 月 20 日(土)	令和 8 年 2 月 10 日(火)	令和 8 年 2 月 17 日(火)

※¹ 地域推薦（北陸 3 県）は生産システム科学科のみ実施します。

社会人選抜・外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（外国ルーツ選抜）

試験区分	Web 出願システム 事前登録開始日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
社会人選抜 ^{※2}		令和 7 年 11 月 1 日(土) ～ 11 月 7 日(金)	令和 7 年 11 月 15 日(土)	令和 7 年 12 月 1 日(月)	令和 7 年 12 月 8 日(月)
外国ルーツ 選抜 ^{※3}					

※² 社会人選抜は看護学科・臨床工学科のみ実施します。Web 出願は行いません。

※³ 外国ルーツ選抜は看護学科のみ実施します。Web 出願は行いません。

（注）一般選抜及び学校推薦型選抜（一般推薦）については、大学入学共通テストの受験が必要です。

また、2 段階選抜は行いません。

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	9
3. 一般選抜	10
(1) 実施日程	10
(2) 出願資格	10
(3) 入学者選抜の実施教科・科目等	11
《前期日程》	12
《中期日程》	16
4. 学校推薦型選抜	20
(1) 地域推薦	20
(2) 一般推薦	21
5. 社会人選抜	27
(1) 実施日程	27
(2) 出願資格	27
(3) 入学者選抜方法	27
6. 外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（外国ルーツ選抜）	28
(1) 実施日程	28
(2) 出願資格	28
(3) 入学者選抜方法	28
7. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談	29
8. 学生募集要項等の入手方法	29
9. 出願方法	30
10. 入学検定料及び入学料	30
11. お問い合わせ	30
12. キャンパス所在地等	31

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

生産システム科学部生産システム科学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

（知識・技能）

1. 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人

（思考力・判断力・表現力）

2. サステイナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人

（主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）

3. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びをもって貢献できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力

高等学校の教育課程で学ぶ数学と物理の知識は、科学的及び工学的な視点で現象を理解するために必須である。また、論理的に思考し、実験レポートや報告書を記述するための日本語力、国際的な視野で考え行動するために英語力が重要である。

2. 自ら問題を発見し、問題を解決する習慣

社会における様々な事象について、自ら問題を発掘・発見し、その問題を解決する姿勢や習慣が必要である。そのためには、生涯の自己研鑽が必要で、自ら進んで学ぶ習慣を身につけることが重要である。

3. 他者と連携・協働し、誠実に取り組む姿勢

通常、実験や実習は、複数人のチームで行うため、他者（共同実験者）と連携・協働して行う実践力及び誠実に取り組む姿勢を身につけることが重要である。

【入学者選抜の方針】

〔一般選抜（前期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、5教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）6科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、数学及び理科（物理基礎・物理）を課し、理系の基礎学力を確認する。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、3教科（数学、理科、外国語）4科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、理科を課し、基礎学力を確認する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、数学、物理の基礎的な試問を含む多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、2教科（数学、理科）3科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。

保健医療学部看護学科

【求める学生像】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した 3 つのすべてを併せもつ学生を求める。

(知識・技能)

1. 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力をもった人
(思考力・判断力・表現力)
2. 人々の営みや健康問題に関心をもち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができ、様々な人々と協力できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校で学ぶ諸科目に関する高い基礎学力

看護学は人々の命と健康を支える学問である。自然科学（生物、また化学、物理も学んでおくと望ましい）と、人の営みの理解につながる人文・社会の幅広い知識を積極的に学び、入学後に学習する生命の構造や機能、疾患のメカニズム、薬物の作用などを理解していくための基礎的な学力を備えておくことが求められる。また、看護は多様な人々との連携・協働が大切となるため、他者とのコミュニケーション能力と語学力につながる国語と外国語の学習が求められる。

2. 他者の価値観を理解し、協力する姿勢

保健・医療・福祉の実践はチームで取り組むため、他者の価値観を理解し、協力して取り組む姿勢が求められる。また、他者の価値観や立場を理解しながら、自身の考えを適切に伝えることができる力の基礎として、考えを整理し表現する習慣を身につけておくことが望ましい。

3. 主体的・論理的に探究する学習習慣

看護専門職として生涯にわたり主体的に学習を継続することが重要である。疑問を解決するために自ら進んで調べ、理解できるまで学習に取り組む粘り強い姿勢と、知識を獲得し深めるための学習習慣、及び知識を活用し論理的に考える習慣を身につけることが望ましい。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、国語、地理歴史・公民、数学、理科、及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 学力のみでは測ることのできない多様性を備えた学生の確保を目的として実施する。
- 2) 大学入学共通テストでは、数学及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 3) 個別試験では、面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 4) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（外国ルーツ選抜）]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、日本語で論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

保健医療学部臨床工学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

(知識・技能)

1. 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
(思考力・判断力・表現力)
2. 医療及びその関連分野の事象や課題を論理的にとらえ、それらに対する自分の考えを表現できる人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らのもつ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
4. 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目の堅固な基礎学力
高等学校の教育課程で学ぶ理科と数学の知識は科学的な視点で事象を理解するために必要である。また、国語と英語の能力は、社会の様々な情報の収集、発信、及び記述のために求められる。
2. 人間の生命や社会活動に関する事象を主体的・論理的に探究する姿勢
医療及びその関連領域において、課題に対処していくため、または知識を深めていくために、自ら知識を収集し道筋を立てて考える姿勢が求められる。
3. 他者の価値観を理解し、常に温かな配慮をもって他者と接する姿勢
医療・保健・福祉の分野では、各医療専門職の連携（チーム医療）が、高度化・細分化した医療を適切に提供するために求められている。このチーム医療の観点から、他者と協働して物事に取り組む姿勢が重要となる。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、外国語、地理歴史・公民、及び国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療またはその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、及び面接試験により学習意欲や能力を総合的に判定する。
- 3) 面接試験では、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学及び外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療またはその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

国際文化交流学部国際文化交流学科

【求める学生像】

国際文化交流学科は国際的視野を身につけ、それを地域貢献に活かすことを目指す人文社会系の学科であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

（知識・技能）

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している人
2. 異文化社会と地域社会の相互関係に常に関心をもち、情報分析や外国語などのスキルを向上させる意欲をもつ人

（思考力・判断力・表現力）

3. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できる人
4. 知的探究心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物事を捕らえることができる人（主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）
5. 良心と社会規範に従って、良識ある行動をとることができる人
6. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる人
7. 自らの成長のために粘り強く物事に取り組むことができる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力
高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について広く理解できていることを求める。
2. 他者とのコミュニケーションとリスペクト
異文化社会と関わっていくためのコミュニケーションの道具である言葉に関するスキルを磨くことはもちろん、自分と異なる「あたりまえ」に対するリスペクトをもつことは大切である。
3. 自分を取り巻く社会への関心
国際社会でいま起きていること、あるいは自分の身近な地域が抱える問題などに日頃から関心をもって目を向ける習慣を身につけておくこと。

【入学者選抜の方針】

〔一般選抜（前期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、5 教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）より 5 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起きていることに常に関心をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・英文を読んで適切に理解することができるか

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、5 教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）より 4 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。
- 2) 個別試験では、課題作文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・英文を読んで適切に理解することができるか

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、3 教科（国語、地理歴史・公民、英語）3 科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。
- 3) 個別試験では、課題作文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に興味をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

2. 募集人員

(単位：人)

学部	学科	入学定員	試験区分と募集人員								社会人	外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜
			一般選抜		学校推薦型選抜							
			前期日程	中期日程	一般推薦	地域推薦						
						市内	県内	北陸3県				
一般	女子											
生産システム科学部	生産システム科学科	80	30	20	7	6	—	12	5	—	—	
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	—	—	若干名	若干名	
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	—	—	若干名	—	
	計	80	47	13	5	7	8	—	—	若干名	若干名	
国際文化交流学部	国際文化交流学部	80	35	25	7	7	6	—	—	—	—	
合 計		240	112	58	19	20	14	12	5	若干名	若干名	
大学入学共通テスト			課す		課す	課さない						

(注) 1. 一般選抜について

前期日程及び公立大学中期日程（以下「中期日程」という。）で実施します。

2. 学校推薦型選抜について

(1) 地域推薦の市内とは石川県小松市内を、県内とは石川県内（小松市内を含む。）を指します。

(2) 北陸3県とは石川県、富山県、福井県の3県を指します。

(3) 学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

3. 社会人選抜・外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（以下「外国ルーツ選抜」という。）について募集人員の若干名は、各学科の一般選抜の内数とします。

4. 「—」印は、当該選抜を実施しないことを示します。

3. 一般選抜

一般選抜は、前期日程及び中期日程で実施します。

入学者の選抜は、令和 8 年度大学入学共通テスト並びに本学が行う個別試験及び調査書の審査の結果を総合して行います。また、調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料として用います。

なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

(1) 実施日程

① 令和 8 年度大学入学共通テスト

令和 8 年 1 月 17 日（土）、18 日（日）

② 個別試験

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
前期日程	1 月 26 日（月） ～	2 月 25 日（水）	3 月 6 日（金）	3 月 14 日（土）
中期日程	2 月 4 日（水）	3 月 10 日（火）	3 月 20 日（金）	3 月 27 日（金）

(2) 出願資格

次の①～③のいずれかに該当し、令和 8 年度大学入学共通テストにおいて、志願する学部学科が課す全ての教科・科目を受験した者

① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者

② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 8 年 3 月までにこれに該当する見込みの者（次のア～カのいずれかに該当する者。）

ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 8 年 3 月までに合格見込みの者で、令和 8 年 3 月までに 18 歳に達するもの（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月までに18歳に達したもの

※ 上記出願資格「カ」により出願しようとする者は、本要項 30 ページの「11.お問い合わせ」まで確認してください。

(3) 入学者選抜の実施教科・科目等

- ① 個別試験の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」、「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」・・・それぞれの全範囲を出題範囲とします。

「数学B」・・・「数列」を出題範囲とします。

「数学C」・・・「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」・・・「物理基礎」及び「物理」の全範囲を出題範囲とします。

- ② 大学入学共通テストで、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、「地理歴史、公民」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。また、「理科」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、生産システム科学科を除き、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。

※ 大学入学共通テストの「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。

- ③ 大学入学共通テストで、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ、個別試験を受験することはできません。

また、個別試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ失格となります。

- ④ 各学科の教科・科目名等が表示してある表の下の「大学入学共通テストの注意事項」も必ず参照してください。

《 前期日程 》

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
前期日程	大学入学共通テスト 「5教科6科目」	国語	『国語』	100 点	750 点
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から1科目	50 点	
		公民			
		数学	『数学Ⅰ・数学A』 ----- 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	200 点 (100×2)	
		理科	『物理』		
		外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200 点	
	個別試験	数学	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・「数学A」・「数学B」・ 「数学C」	100 点	200 点
		理科	「物理基礎」・「物理」	100 点	
	合 計				

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点し、100 点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
また、素点 100 点満点を傾斜配点し、50 点満点とします。
3. 「理科」は、『物理』の成績を利用するものとし、素点 100 点満点を傾斜配点し、200 点満点とします。
4. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を 2 倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を 0.5 倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を傾斜配点し、200 点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点 100 点満点）を 2 倍した 200 点満点とします。

一般選抜（前期日程）

【保健医療学部 看護学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
前期日程	大学入学共通テスト 〔5教科6科目〕	国語	『国語』	150 点	650 点
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から1科目	100 点	
		公民			
		数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100 点 (50×2)	
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100 点	
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200 点		
	個別試験	その他	「面接（集団）」 医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。	100 点	100 点
合 計					750 点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点し、150 点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
3. 「数学」は、2 科目とも素点 100 点満点を傾斜配点で 50 点満点とし、合わせて 100 点満点とします。
4. 「理科」で 2 科目受験している場合は第 1 解答科目の成績を利用します。
5. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を 2 倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を 0.5 倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を傾斜配点し、200 点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点 100 点満点）を 2 倍した 200 点満点とします。

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
前期日程	大学入学共通テスト 「5教科7科目」	国語	『国語』	100 点	800 点
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から1科目	100 点	
		公民			
		数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	200 点 (100×2)	
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』			
		理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目	200 点 (100×2)	
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200 点		
	個別試験	その他	「小論文」 人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述 することを求めます。	100 点	200 点
その他		「面接（集団）」 医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に 評価します。	100 点		
合 計					1,000 点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点し、100 点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を2倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を0.5倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を傾斜配点し、200 点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点 100 点満点）を2倍した 200 点満点とします。

一般選抜（前期日程）

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
前期日程	大学入学共通テスト 〔4教科5科目〕又は〔5教科5科目〕	国語	『国語』	200 点	750 点
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から 2 科目	200 点 (100×2)	
		公民			
		数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 1 科目	100 点	
		理科			
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	250 点		
	個別試験	その他	「小論文」 社会、歴史、文化、言葉等に関する英語と日本語の文章を一つずつ提示し、それぞれについて文章理解に基づき日本語で論述をさせます。	250 点	250 点
合 計					1,000 点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」、「理科」において、「理科」で 2 科目受験している場合は第 1 解答科目及び「数学」のうち、最高得点の成績を利用します。
2. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を 2 倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を 0.5 倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を利用します。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディングの得点（素点 100 点満点）を傾斜配点し、250 点満点とします。

《 中期日程 》

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
中期日程	大学入学共通テスト 〔3教科4科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目 ----- 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	200点 (100×2)	500点
		理科	『物理』	100点	
		外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
	個別試験	理科	「物理基礎」・「物理」	400点	400点
合 計					900点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

【保健医療学部 看護学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
中期日程	大学入学共通テスト 〔3教科4科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目 ----- 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100点 (50×2)	400点
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100点	
		外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
	個別試験	その他	「面接（集団）」 医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。	200点	200点
合 計					600点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点満点とし、合わせて100点満点とします。
2. 「理科」で2科目受験している場合は第1解答科目の成績を利用します。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
中期日程	大学入学共通テスト 「3教科5科目」	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	200点 (100×2)	600点
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
		理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目	200点 (100×2)	
		外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
	個別試験	その他	「面接（個人）」 医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。	200点	200点
合 計					800点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
中期日程	大学入学共通テスト 「4教科4科目」	国語	『国語』	150 点	600 点
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2教科2科目	200 点 (100×2)	
		公民			
		数学			
		理科			
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	250 点		
	個別試験	その他	「小論文」 社会、歴史、文化、言葉等に関する日本語の文章を二つ提示し、 それぞれについて文章理解に基づく論述をさせます。	300 点	300 点
合 計					900 点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点し、150 点満点とします。
2. 「地理歴史、公民、数学、理科」については、当該教科の中から得点上位の 2 教科 2 科目の成績を利用します。ただし、次の点に注意してください。
 - (1) 「地理歴史、公民」で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
 - (2) 「理科」で 2 科目受験している場合は第 1 解答科目の成績を利用します。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を 2 倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を 0.5 倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を利用します。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディングの得点（素点 100 点満点）を傾斜配点し、250 点満点とします。

4. 学校推薦型選抜

（１）地域推薦

地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施します。

地域推薦は、大学入学共通テストを課しません。調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料として用います。

① 実施日程

個別試験

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
地域推薦	11月1日（土）～ 11月7日（金）	11月15日（土）	12月1日（月）	12月8日（月）

② 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

- ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者
- ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者

③ 推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況3.5以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、**合格した場合、入学することを確約できる者**

ア 市内推薦

次のi又はiiのいずれかに該当する者で、iiiに定める推薦人数とします。

- i 小松市内に所在する高等学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- ii 高等学校卒業年度の4月1日以前から引き続き本人又は保護者※が小松市内に住民登録がある者で、小松市外に所在する高等学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者

※ 保護者とは、父母又は主たる生計維持者をいいます。

iii 高等学校からの推薦人数は、学科ごとに次の通りとします。

- ・ 生産システム科学部 生産システム科学科 1校男女を問わず最大3人に加え、女子1人の合計4人以内
- ・ 保健医療学部 看護学科 1校2人以内
- ・ 保健医療学部 臨床工学科 1校1人以内
- ・ 国際文化交流学部 国際文化交流学科 1校3人以内

イ 県内推薦

次の i に該当する者で、ii に定める推薦人数とします。

- i 石川県内（小松市を含む。）に所在する高等学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- ii 高等学校からの推薦人数は、各学科ともに 1 校 1 人以内とします。

ウ 北陸 3 県推薦（生産システム科学科のみ）

次の i に該当する者で、ii に定める推薦人数とします。

- i 石川県（小松市を含む。）、富山県、福井県に所在する高等学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者
- ii 高等学校からの推薦人数は、次の通りとします。
 - ・一般枠 1 校 2 人以内
 - ・女子枠 1 校女子 1 人以内

④ 入学者選抜方法

学部学科	選抜方法	配点	内容
生産システム科学部 生産システム科学科	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。(数学・物理の基礎に関する試問を含む。)
保健医療学部 看護学科	面接 (個人)	200 点	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。
保健医療学部 臨床工学科	面接 (個人)	200 点	医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。
国際文化交流学部 国際文化交流学科	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。
	課題 作文	100 点	日常生活又は地域、国際をテーマとする英語による導入文（リード文）を提示し、当該テーマについて日本語で自由作文させることで、文章表現能力等の資質を評定します。

（注）地域推薦は全て同一の選抜方法で実施します。

（２）一般推薦

学力のみでは測ることのできない多様性を備えた学生の確保を目的として実施します。

一般推薦は、大学入学共通テストにより一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料として用います。

なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

① 実施日程

ア 令和 8 年度大学入学共通テスト

令和 8 年 1 月 17 日（土）、18 日（日）

イ 個別試験

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
一般推薦	12 月 2 日（火）～ 12 月 12 日（金）	12 月 20 日（土）	2 月 10 日（火）	2 月 17 日（火）

② 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

イ 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

③ 推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の学習成績概評が B 段階以上（全体の学習成績の状況 3.5 以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、**合格した場合、入学することを確約できる者**

ア 大学入学共通テストで志願する学部学科が課す教科・科目を受験する者

イ 高等学校からの推薦人数は、学科ごとに 1 校 1 人以内とします。

④ 入学者選抜の実施教科・科目等

ア 大学入学共通テストで、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、「地理歴史、公民」の受験科目を 1 科目と指定した学科において 2 科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第 1 解答科目の成績を利用します。

※ 大学入学共通テストの「地理歴史、公民」の試験時間において 2 科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第 1 解答科目、後半に受験した科目を第 2 解答科目とします。

イ 大学入学共通テストで、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ、個別試験を受験することはできません。また、個別試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目を受験しなければ失格となります。

ウ 各学科の教科・科目名等が表示してある表の下の「大学入学共通テストの注意事項」も必ず参照してください。

学校推薦型選抜（一般推薦）

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
一般推薦	大学入学共通テスト 〔2教科3科目〕	数学	『数学Ⅰ、数学A』	200 点 (100×2)	300 点
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
		理科	『物理』	100 点	
	個別試験	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。	100 点	100 点
合 計					400 点

【保健医療学部 看護学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
一般推薦	大学入学共通テスト 〔2教科3科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100点 (50×2)	300点
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
		外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
	個別試験	その他	「面接（個人）」 医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。	200点	200点
合 計					500点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」は、2科目ともに、素点100点満点を傾斜し50点満点とします。
2. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

学校推薦型選抜（一般推薦）

【保健医療学部 臨床工学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
一般推薦	大学入学共通テスト 〔2教科3科目〕	数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』から1科目	100点 (50×2)	300点
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
		外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点	
	個別試験	その他	「面接（個人）」 医療またはその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価します。	200点	200点
合 計					500点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「数学」は、2科目ともに、素点100点満点を傾斜し50点満点とします。
2. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点100点満点を2倍した200点満点〕とリスニング〔素点100点満点を0.5倍した50点満点〕の合計点（250点満点）を傾斜配点し、200点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点100点満点）を2倍した200点満点とします。

【国際文化交流学部 国際文化交流学科】

大学入学共通テスト・個別試験の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名	配点	合計
一般推薦	大学入学共通テスト 「3教科3科目」	国語	『国語』	100 点	400 点
		地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 から 1 科目	100 点	
		公民			
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200 点		
	個別試験	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。	200 点	400 点
その他		「課題作文」 日常生活又は地域、国際をテーマとする日本語による導入文（リード文）を提示し、当該テーマについて自由作文させることで、文章表現能力等の資質を評定します。	200 点		
合 計					800 点

大学入学共通テストの注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜し 100 点満点とします。
2. 「地理歴史、公民」で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
3. 「外国語『英語』」は、リーディング〔素点 100 点満点を 2 倍した 200 点満点〕とリスニング〔素点 100 点満点を 0.5 倍した 50 点満点〕の合計点（250 点満点）を傾斜配点し、200 点満点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の『英語』は、リーディング（素点 100 点満点）を 2 倍した 200 点満点とします。

5. 社会人選抜

(1) 実施日程

個別試験

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
社会人選抜	11月1日（土）～ 11月7日（金）	11月15日（土）	12月1日（月）	12月8日（月）

(2) 出願資格

次の①～③のいずれかに該当し、満23歳（令和8年3月31日現在）に達しており、社会人としての実務経験（非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む。）を3年以上有する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※1 社会人としての実務経験について、定時制・通信制及び夜間部等における学校在学期間中の勤務期間、家業（自営業等）の従事期間は、実務経験に算入します。実務経験に関する質問等は、本要項30ページの「11. お問い合わせ」まで確認してください。

※2 上記出願資格「③」により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行う場合がありますので、願書受付開始日の1か月前までに本要項30ページの「11. お問い合わせ」までご連絡ください。

(3) 入学者選抜方法

本選抜は、大学入学共通テストを課しません。調査書、志願理由書の審査、面接、小論文により総合的に判定します。

学部学科	選抜方法	配点	内容
保健医療学部 看護学科	面接（個人）	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
	小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。
保健医療学部 臨床工学科	面接（個人）	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
	小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。

6. 外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜（外国ルーツ選抜）

（１）実施日程

個別試験

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
外国ルーツ 選抜	11月1日（土）～ 11月7日（金）	11月15日（土）	12月1日（月）	12月8日（月）

（２）出願資格

出願及び入学の時点で、両親又は片方の親が外国籍を有し、日本に在住している者（本人の国籍は問わないが、在留資格が留学でない者）で、次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 日本の高等学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法施行規則（昭和22年文部科学省第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
- ③ 上記①、②に該当せず、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※ 上記出願資格「②」又は「③」により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行う場合がありますので、願書受付開始日の1か月前までに本要項30ページの「11.お問い合わせ」まで連絡してください。

（３）入学者選抜方法

本選抜は、大学入学共通テストを課しません。調査書、志願理由書の審査、面接、小論文等により総合的に判定します。面接、小論文の試験は日本語で行います。

学部学科	選抜方法	配点	内容
保健医療学部 看護学科	面接（個人）	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
	小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、日本語で論述することを求めます。

7. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に相談してください。相談に必要な提出書類等の詳細は以下の通りです。

(1) 提出書類

本学所定の事前相談書様式を本学ホームページ（トップ＞入試情報＞学生募集要項）からダウンロードしてください。参考となる書類がある場合はそれらを添付してください。



(2) 相談締切日

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 一般選抜 | 令和8年 1月 9日（金） |
| ② 学校推薦型選抜（一般推薦） | 令和7年 11月 21日（金） |
| ③ 学校推薦型選抜（地域推薦） | 令和7年 10月 10日（金） |
| ④ 社会人選抜・外国ルート選抜 | 令和7年 10月 10日（金） |

(3) 相談先及び提出先

公立小松大学 学生課入試係
〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10
電話：0761-23-6610
E-mail: nyushi@komatsu-u.ac.jp

8. 学生募集要項等の入手方法

請求できる資料の種類と請求方法は、次の表を参照してください。

資 料 名	発表時期	ダウンロード	冊子
大学案内	6月中旬	○	○
入学者選抜要項	7月上旬	○	○
学生募集要項（学校推薦型選抜・社会人選抜・外国ルート選抜）	9月上旬	○	×
学生募集要項（一般選抜）	10月上旬	○	×※

(1) ダウンロード

本学ホームページ（トップ＞入試情報＞学生募集要項）からダウンロードしてください。



(2) 冊子

① テレメールから請求

本学ホームページ（トップ＞入試情報＞学生募集要項）から、テレメールのページへアクセスし、ページ内の指示に従ってください。

※募集要項（一般選抜）のみテレメールによる印刷・発送サービスがあります。



② 大学窓口

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前9時から午後5時の間に、以下の窓口にて受け取ってください。

公立小松大学 学生課

中央キャンパス 〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

末広キャンパス 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ 14 番地 1

栗津キャンパス 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ 1 番地 3

9. 出願方法

試験区分	出願方法
一般選抜（前期日程・中期日程）	W e b 出願
学校推薦型選抜	W e b 出願
社会人選抜・外国ルーツ選抜※	紙媒体による出願

※ 社会人選抜・外国ルーツ選抜の受験を希望される場合は、出願前に以下の「11. お問い合わせ」まで連絡してください。

10. 入学検定料及び入学料

令和8年度（2026年度）入学者選抜の入学検定料及び入学料(予定)は、次の通りです。

(1) 入学検定料 17,000 円

(2) 入学料※¹

① 市内者※² 282,000 円

② その他 423,000 円

※1 納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

※2 「市内者」とは、「入学者本人又は保護者※³が、入学前年の4月1日以前から引き続き、小松市内に住民登録がある者」を指します。

※3 保護者とは、父母又は主たる生計維持者をいいます。

11. お問い合わせ

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前9時から午後5時の間に、以下までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10（中央キャンパス）

電話：0761-23-6610

E-mail：nyushi@komatsu-u.ac.jp

12. キャンパス所在地等

(1) 中央キャンパス

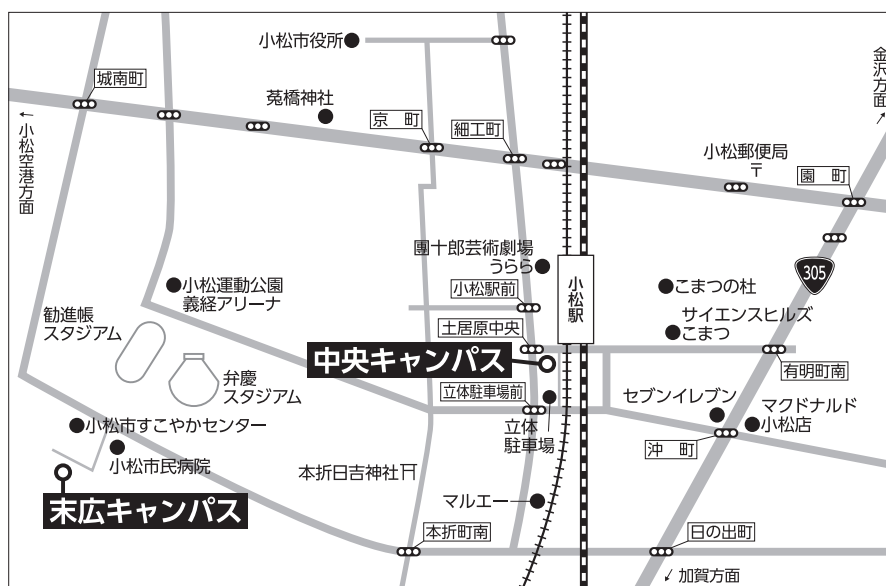
【所在地】 〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

【アクセス】 小松駅から徒歩約 1 分

(2) 末広キャンパス

【所在地】 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ 14 番地 1

【アクセス】 小松駅から路線バスで「市民病院」下車（所要時間約 5 分）、徒歩約 5 分、小松駅から徒歩約 23 分



(3) 栗津キャンパス

【所在地】 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ 1 番地 3

【アクセス】 栗津駅から徒歩約 11 分

